

# 図書だより12月号



担当者

2年1組

2年1組

2年5組



<p>先生のおすすめ本 マンガ版もあります!</p> <p>書名 <u>ダレン・シャン シーズ</u> 著者 <u>Darren Shan 訳:橋本恵</u> コメント 「奇怪なサーカス」シルク・ド・ブリークを見に行った少年ダレン・シャンは、毒グモに嘔まれた友人・スティーブの命を助けるために、半バンパイアになってしまいます…。そして…!? 皆さんは友達のために人間としての人生を捨てられますか?</p>	<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>重力ピエロ</u> 著者 <u>伊坂幸太郎</u> コメント 中学生には読みやすい文章量だと思います。作品のあちこちに散りばめられたほんのり温かい一言に癒される作品です。「自分を自分で決めているものは何か」に悩む登場人物たちに注目しながら読んでほしいです。</p>	<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>阪急電車</u> 著者 <u>有川浩</u> コメント 「阪急電車」は映画にもなった作品です。ちなみに私は、先に映画を見ました。情景が細く描写されていて、読んでいるとこの作品の世界が目の前に広がってきます。短く軽快な手書きのイラストが、乗るの気持ちや、あずさ色の美しい電車です。</p>	<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>ココロ</u> 著者 <u>夏目漱石</u> コメント 「恋は罪悪です」、「私は未来の侮辱を受けないために、今の尊厳を譲りたくないと思うのです。」——作中の「先生」が「私」に言った言葉です。「先生」はなぜこのおなじことを言えるのでしょうか? そこには、かつて「先生」が経馬さんとある事件や関係性があったのです。少し難しいかもしれませんが、一度読み終えれば、心までぐちゃぐちゃ、「もう一度読みたい!」という気持ちになっていることでしょう。</p>
<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>5分間リアル脱出ゲーム</u> 著者 <u>SCRAP 出版</u> コメント みなさんにぜひ紹介したい、でんたつしたい本は、謎解きの本なんです。謎解きの力は全てをも巻き込み、勉強とか恋愛とか図れないほど成長が! 考えたり書く内容も響くのでぜひとしよ館や自宅で、読んでみましょう</p>	<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>Colorful</u> 著者 <u>森 絵都</u> コメント 死んだのはおぼろの天が天使業界の抽選にあたり、再挑戦のチャンスを得た。自殺を図った中学三年生の少年、小林真として過ごす中で、世界は多様な色で溢れていることを知る。私が「学生の時」に無中で読んだ本で、悩みの多い君たちに、色やことを考え直すきっかけとなる作品です!!</p>	<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>科学者がマイクスイオンの部署に</u> 著者 <u>朱野 帰子 異動はしる</u> コメント 大手家電X-カーに勤める科学マニアの羽嶋賢見は、「マイクスイオンドラマ」など、科学的根拠がない自社の商品を売りたくありません。科学ヲクヤ、自分の信念を持つ、という人ならこの主人公の気持ちがわかるはず!! ぜひ読んでみてください。</p>	<p>先生のおすすめ本</p> <p>書名 <u>わけあって絶滅しました。</u> 著者 <u>今泉忠明、丸山貴史</u> コメント 栄枯盛衰、一時期は全盛を謳歌した多くの生き物たちも絶滅という悲劇の結末を迎えることに。その理由を自らの言葉で自嘲気味に説明し、そのユニークなわけと哀愁を帯びた語り口に思わず笑ってしまうのですが、本当は切ないお話です。でもおもしろいです。</p>